

【取組例4】情報の発信

課題・きっかけ	児童生徒の取組や成果の発信、学校評価（学校だより、学校ホームページの充実）…												
活動内容	作品等の紹介、ちらしやポスターの掲示、学校だよりの回覧、学校ホームページの活用、地域のたよりやリーフレット等の配布…												
期待される効果	児童生徒にとって	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感や学習意欲の向上 地域への意識や関心の高まり 											
	学校にとって	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動の理解、啓発 											
	地域にとって	<ul style="list-style-type: none"> 地域に対する理解の向上 情報の共有 											
役割・活動の分担	学校	展示及び掲示場所の調整や依頼、たより等の配布及び回覧依頼、地域のたよりやリーフレット等の收受と配布											
	地域	たより等の配布依頼、学校だより等の配布及び回覧、作品等の展示及び地域への紹介											
スケジュール例	4月 調整	5月 計画 周知	6月	7月 学校だより 地域版 配布	8月	9月 作品 展示	10月 作品 展示	11月	12月 学校だより 地域版 配布	1月	2月	3月 学校だより 地域版 配布	備考
次のステップ	他校や地域との作品交流、図工・美術等の充実（ゲストT、体験）…												

【取組例5】人材

課題・きっかけ	ゲスト・ティーチャー、ボランティア、人材派遣、職員の募集、人材発掘…												
活動内容	ゲスト・ティーチャーやボランティアによる授業や行事等への支援、職員の募集（非常勤職員、スクールバス添乗員等）、地域や関係機関等への人材派遣（研修の講師）…												
期待される効果	児童生徒にとって	<ul style="list-style-type: none"> 人との関わる経験の拡大 地域への意識や関心の高まり 卒業後の余暇活動の拡大 											
	学校にとって	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動の充実 人材の確保 											
	地域にとって	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の活躍の場の拡大 地域の学びの場の拡大 											
役割・活動の分担	学校	人材の募集（学校だよりやHP）、人材派遣、事例の報告											
	地域	派遣要請、応募、授業等への支援											
スケジュール例	4月	5月	6月	7月	8月	9月 募集・案内・依頼	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
次のステップ	他の取組との融合…												

学校名

北海道教育大学札幌校

取組名

キンダーぷらつつ

趣 旨

キンダーぷらつつ (Kinder Platz)はドイツ語で「子どもの広場」という意味で、障害の有無に関わらず、児童・生徒が楽しみながら参加できる余暇支援の取組である。参加者の特性や学習ニーズを捉えた運動プログラムとしたり、学生ボランティアが参加者にこまめにコミュニケーションをとることで、学校外の学びへの意欲を高め、学校卒業後の余暇活動やスポーツへの参加に対するハードルを下げる機会になっている。

取組内容

○キンダーぷらつつ

- ・日時 令和5年4月～令和6年3月（月に一回、土曜日に開催）
- ・会場 北海道教育大学札幌校
- ・対象 小学生・中学生・高校生
- ・内容 参加者みんなが楽しめる運動遊びなど
（クリスマス会など、季節のイベントも実施）

※小学生や中学生を中心とした余暇活動充実の場になっているだけでなく、学校外で取り組むことができる学びの情報を共有したり、保護者の子育ての悩みを交流する機会になるなど、子育て支援の機会にもなっている。

○新企画 キンダーぷらつつ×hue Tech Labコラボ企画

- ・日時 令和5年4月、6月、10月、12月
- ・内容 1回目 レーザー加工機でキーホルダーをつくろう！
2回目 ウィンドベルをつくろう！！
3回目 モデルロケットを打ち上げよう！
4回目 指人形をつくろう！

※キンダーぷらつつと、同校の技術教育学研究室 (hue Tech Lab) が連携し、特別な支援が必要な児童・生徒のためのものづくり教育の場を提供し、ものづくりを通じた情操教育や資質能力の育成に取り組むとともに、特別支援学校等でも活用できる教材の開発も進める取組である。

配慮や工夫

- ・障害の有無に関わらず、参加者や運営者が自然な流れの中で交流が生まれるように、プログラムを実施している。
- ・子どもたちの創造力と創造力を引き出すため、安全面への配慮を行いながらも、自由な活動を保障するよう心掛けている。
- ・参加へのハードルを下げるため、家族で参加できる活動内容も取り入れている。



トランポリンやスナックライン

キンダーぱらっつ×hue Tech Labコラボ企画

第1回「かんたん！レーザー加工機でキーホルダーを作ろう！」

キンダーぱらっつ 北海道教育大学技術教育学研究室(hue Tech Lab)コラボ企画

hue 北海道教育大学
HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION

レーザー加工機でキーホルダーを作ろう！

かんたん！！

自由に絵を描いて

コンピュータに取り込んで

レーザー加工機で加工

キーホルダーの完成！

所要時間 30分～45分
※コーティングが乾いてからのお楽しみとなります。
完成後30分程度お待ちいただきます。

開催予定 2023年4月22日
10:00～14:00 (最終受付 13:30)

みなさんの参加をお待ちしています！
技術教育学研究室・機械金属加工実験実習室

北海道教育大学札幌校
技術教育学研究室
hue Tech Lab

<https://sites.google.com/s/hokkyodai.ac.jp/hue-tech-edu-lab/>

第2弾「～風でゆらゆら～ウィンドベルをつくろう！！」

キンダーぱらっつ × hue Tech Lab コラボ企画第2弾

かせ
～風でゆらゆら～

ウィンドベルをつくろう！！

夏にピッタリ！
玄関先にぶら下げて爽やかな風と音色を楽しみましょう！

長さのちがうパイプを組み合わせて
色々な音を楽しもう！

レーザーカッターで
好きな形にカットしよう！

開催予定 2023年6月17日(土)
※先着10名限定！
大変申し訳ございません。
材料が無くなり次第終了させていただきますので
ご了承ください。

みなさんの参加
お待ちしております！

第3弾「どこまで飛ぶかな!? モデルロケットを打ち上げよう！」

キンダーがらっつ × hue Tech Lab コラボ企画第3弾

どこまで飛ぶかな!?

モデルロケットを打ち上げよう!

火薬で飛ぶ本格的なロケットだよ!
煙を噴きながら飛ぶ姿は迫力満点!
みんな参加してね!

モデルロケットが飛ぶ様子を
Youtubeでご覧頂けます。



開催予定 2023年10月14日(土)

※各回4家族限定!

★1回目 10:30 集合(受付10:00 先着順)
★2回目 13:00 集合(受付12:30 先着順)
所要時間 45分程度
集合場所:機械金属加工実験実習室

※ロケットの発射のみを体験していただきます。
(製作は行いません)
※雨天・強風時には中止とさせていただきます。
※安全面から保護者同伴をお願い致します。

たくさんの方々に参加して頂きたいので、家族単位で参加してください(兄弟が何人いても1回のみ参加です)

第4弾「カワイイ! 楽しい! 指人形をつくろう！」

キンダーがらっつ × hue Tech Lab コラボ企画第4弾

カワイイ! 楽しい!

指人形をつくろう!

作りたい形を絵に描いて
レーザーで切って
ボンドで接着して完成!

みんな参加してね!

開催予定 2023年12月16日(土)
所要時間30~40分程度
10:00~12:00
場所:機械金属加工実験実習室



学校名 北海道文教大学

取組名

チャレンジド教室

取組紹介

特別な支援を必要とする子どもたちを対象に、軽スポーツやイベント活動などの楽しい体験プログラムを実施し、豊かな成長を支援する機会になっている。企画や運営には、人間科学部こども発達学科の学生ボランティアが主体的に行い、参加する子どもや保護者の学習ニーズに沿った内容としている。

参加する子どもたちの中には、特別支援学校卒業後にも学びの機会に参加する方もいるなど、学校教育から生涯学習への接続に好影響を及ぼしている。

具体的内容

○日時・会場・対象

- ・日時 5～7月、10～1月の毎週金曜日 16：30～17：30
- ・会場 北海道文教大学
- ・対象 恵庭市内や近郊に在住の特別な支援を要する幼児・児童・生徒、きょうだい児も含めた対象設定となっていることが特徴。

○活動内容（下記は、令和4年度）

- ・季節感のある創作活動
ペットボトル風鈴づくり、クリスマスリースづくり 等
- ・ルールを守りながら、仲間と楽しむ運動遊び
カプラで遊ぼう、忍者修行にチャレンジ 等
- ・学びの成果を生かすイベント
夏祭り、クリスマス会、発表会 等

※創作系と運動系をバランス良く、企画・実施できるよう配慮している

○保護者のおしゃべり会の開催

児童生徒が活動している時間に、参加している保護者が、他の保護者や大学の教員等と、子育ての中で感じている悩みや不安を交流している。学校以外で行われている講座やイベントの情報を得る機会にもなっている。

○保護者からの感想

- ・学生や友達と触れ合うことで、学びへの意欲を高めることができている。地域のイベントや事業に対しても、積極的に参加するようになってきた。
- ・保護者のおしゃべり会は、不足しがちな学校卒業後の学びの情報を得られる貴重な機会になっているので、このような機会を各地に拡げて欲しい。

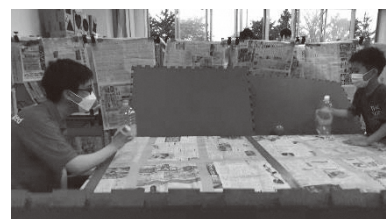
配慮や工夫

○指導内容や留意事項をスタッフ間で共有

- ・実施する回ごとに、活動計画書を作成し、活動のねらい・流れ、指導体制・配慮事項を運営者間で情報共有をしている。

○参加家庭に寄り添った運営

- ・活動の様子をこまめに報告したり、きょうだいや保護者も参加できるようにするなど、家庭に寄り添った運営を心掛けている。



手づくりおもちゃで交流

北海道文教大学 こども発達学科

「チャレンジド教室」へようこそ！

*活動場所：北海道文教大学 7号館 保育演習室2 他

*活動期間：5月～7月、10月～1月（不定期）

*活動日（基本）：金曜日 16:30～17:30

*活動内容

恵庭市にお住まいのお子さんを中心に、障がいのある幼児・児童・生徒を対象として、学生たちが企画した様々な活動を子どもたちと一緒に楽しめる場となるよう活動しています。夏まつりやクリスマス会のイベントも計画しています。



チャレンジド教室では、お子さんたちが活動している時間に、参加している保護者の方々が別教室で「保護者のおしゃべり会」を行っています。こちらは、こども発達学科の教員が中心となり、様々な話題でお話したり、企画を楽しんだりしています。

チャレンジド教室の活動に、興味・関心のある方は、参観からでも構いませんので、是非一度お出でください。学生たちが、子どもたちと一緒に楽しく参加できるよう、毎回いろいろな活動を企画して準備してお待ちしています。

連絡先：こども発達学科 山下研究室 0123-29-8042